

第2章 福岡市林業の現状と課題

(1) 森林の保全・再生

林業経営への意欲低下を背景として、適切な施業が行われていないことにより荒廃した人工林が増大しています。

このため、福岡県では平成20年度から森林環境税が導入されて荒廃森林再生事業が開始されており、本市においてもこの事業を活用して長期間手入れがなされていない人工林（市有林を除く。）の間伐など荒廃森林の再生に取り組んでいます。

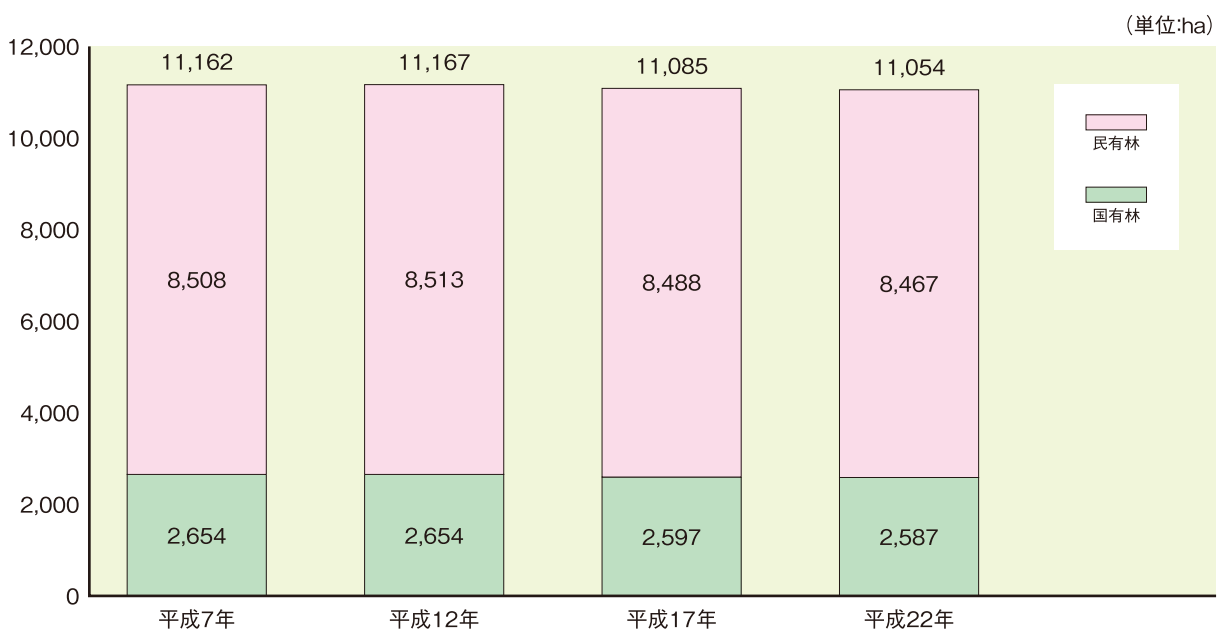
今後も荒廃森林の間伐等により森林を健全化し、水源のかん養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止等の多面的機能の持続的な発揮が図られるよう事業を進めていく必要があります。

また、近年、竹林所有者の高齢化等により放置竹林が増加し、隣接する人工林に侵入するなどして大きな被害を与えており、今後その有効活用を含めた対策の検討が必要となっています。

松くい虫による松林への被害は依然として継続しているとともに、近年、被害が拡大する傾向が見られることから、引き続き薬剤の地上散布や市民との共働による松林保全の取り組みが必要です。

さらに、近年の異常気象に伴う集中豪雨等により予想される林道・林地の土砂災害に対して、その防止対策の充実が課題となっています。

[本市の森林面積]



資料:福岡県「福岡地域森林計画(森林資源表)」

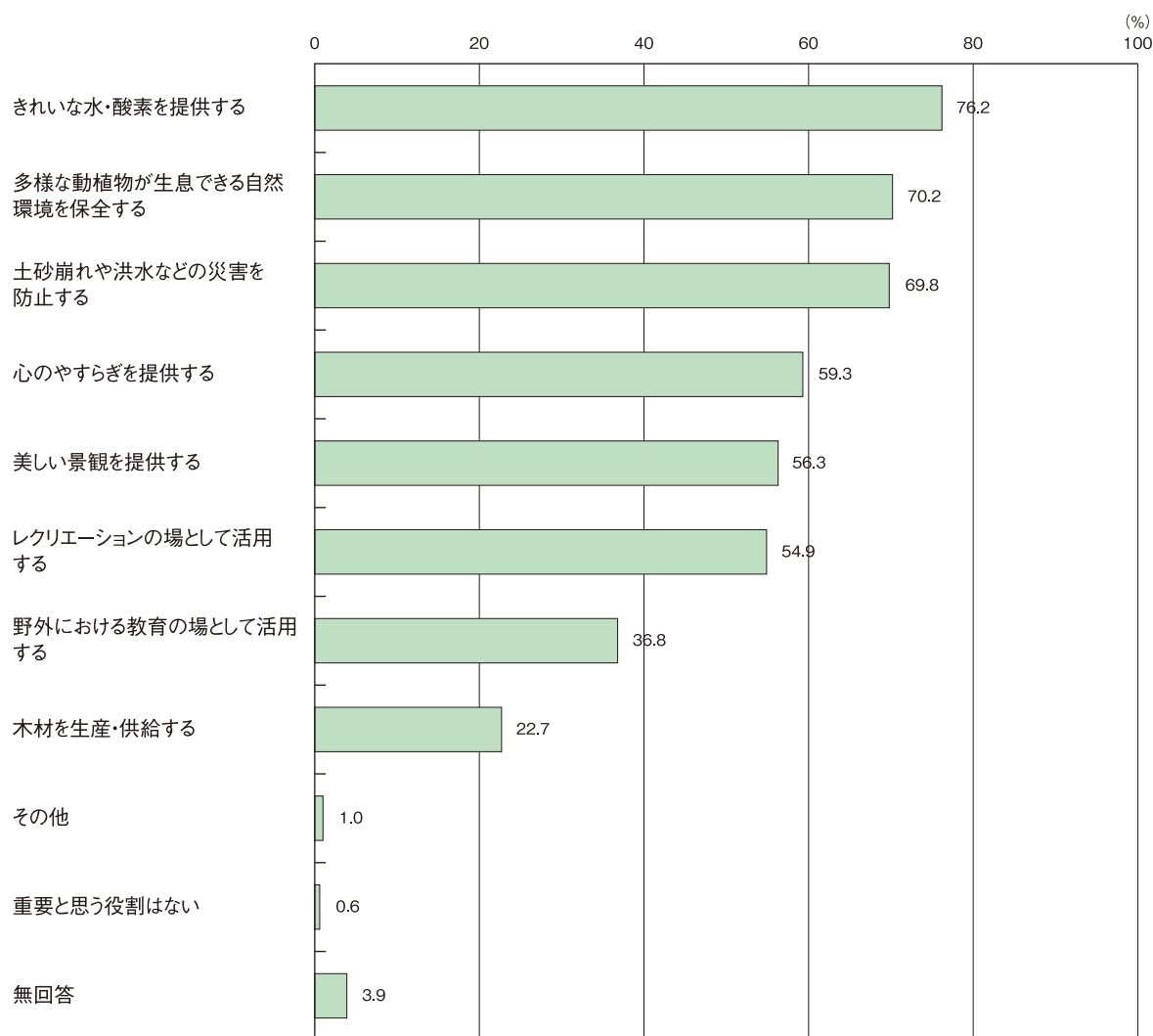
(2) 多様で市民に身近な森林づくり^{もり}

近年,市民が期待する森林の役割として,森林の有する多面的機能のうち地球温暖化緩和や生物多様性保全などの環境保全機能や,水源かん養機能,災害防止機能等に対する評価が高まっています。

このような環境問題をはじめとする森林への市民意識の高まりを受けて,森林の整備・保全を行う市民や企業によるボランティア活動が増加しています。

そのため,これらのボランティア活動による多様な森づくりを支援するとともに,森林環境教育やさまざまな市民の活動の場としての活用と充実を図ることが課題となっています。

[市民が期待する森林の役割]



資料:市政に関する意識調査(平成22年度)

全体(N=2,531)

(3) 生産基盤

林業の最も重要な生産基盤である林道や作業道等の整備が遅れていることから、関係機関との連携、協力のもと、施業の低コスト化に向けた路網整備を加速化する必要があります。

また、既存の路網についても、施業集約化を推進するため、作業車両の大型化・高性能化への対応が必要となっています。

国においては、従来の切り捨て間伐から、間伐材の有効利用を図る利用間伐への転換が推進されており、本市としても搬出経費の負担を軽減するための条件整備に取り組んでいく必要があります。

分収林制度については、公益的機能に配慮した長伐期施業などの新たな施業方法への転換を図っていく必要があります。

[林道、作業道の延長距離]

(単位:m)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
林道	98,218	98,652	99,310	99,776	100,249
作業道	14,215	14,215	14,215	14,215	14,715

資料:森林・林政課



林道今畑線



切り捨て間伐後の林内

（4）林業経営

林業の採算性の悪化により就業意欲は低下し、従事者の高齢化や後継者不足が深刻化する等、林業経営は厳しい状況にあります。

さらに本市の人工林の多くが利用期に移行する段階にある中、木材の需要に大きく寄与する木造住宅着工数は全国的に平成3年以降減少傾向にあります。

そのような中、木材の生産者・加工業者及び木造住宅の設計・建設等の事業者の連携により、民間住宅における地域産材の利用促進を目的として、平成23年1月に産直住宅「ふくおか脊振の木・家づくりの会」が設立されました。

本市としても木造率の低い公共建築物等において、地域産材利用を促進する仕組みづくり等に取り組んでいく必要があります。

また、自立した林業を実現させるために、提案型集約化施業への転換等、林業経営環境の抜本的な改善が求められています。

[林業生産額の推移]

(単位:千円,%)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	22年/21年
スギ	12,381	5,046	4,157	19,922	11,497	57.7
ヒノキ	67,158	31,981	23,751	27,525	31,398	114.1
マツ	1,222	1,935	163	0	0	-
合計	80,761	38,962	28,071	47,447	42,895	90.4
林家戸数(単位:戸)	1,593	1,551	1,543	1,543	1,543	100.0
1戸あたり林業生産額	51	25	18	31	28	90.3

※生産額:福岡県森林計画実行状況報告書等による伐採材積に各年度の木材価格の平均単価を乗じて合計したもの。



自然乾燥中の製材



地域産材を利用した公共建築物